



学校ビオトープの保全と活用

寄稿：佐藤博美（美馬市岩倉小学校）

【生きものみつけたよ！】

岩倉小学校にビオトープができて3年目になります。生活科の学習を中心に子どもたちはビオトープから生き物の成長に気付き、ふれあい、そして季節を感じ取ってきました。

春、夏、秋とにぎやかなビオトープですが、冬になると生き物の姿もほとんど見えなくなり、子どもたちも窓からのぞく程度の関わりになってきました。そんなある日のこと。

「去年、二年生とビオトープのそうじをしたけれど、今年もするのかなあ。」という声が子どもの中から聞こえてきました。そこで、徳島県ビオトープ・アドバイザーの方に依頼をしました。

いよいよ3月17日ビオトープの大そうじです。汚れてもいい服装に着替え、子どもたちは大はりきりです。

**発見**：大そうじのためにビオトープの中の生き物をひっこしさせていきました。冬のビオトープにも子どもの予想を上回るたくさんの生き物がいました。



**がんばる**：ドロドロになりながらのバケツリレー・水のかいだし・みぞそうじ。体を動かす！五感が働く！



池の生きものを避難させよう！



生きものは一匹も見逃さないぞ！

(裏面に続きます。絵日記は、3・4頁に拡大版を添付しています。)

**つなげる**：春につなげる！次の2年生につなげる！



活動を終えて2年生は1年生に「来年のピオトープのお世話をたのむよ。」という言葉をかけていました。ちなみに子どもたちが1番印象に残ったウシガエルは『ピオトープの主』ということでピオトープにもどされました。さて次の大そうじでもすがたをみせるか、わくわくしています。(ウシガエルは、特定外来生物です。このことを学ぶ良い機会です。しっかり時間をとって、子どもたちに伝え、理解を深め、指導を続けてください。編集担当)

**ピオトープ・サロン お便りコーナー**

読者の方々から励ましのメッセージをいただきました。急遽、「ピオトープ・サロン お便りコーナー」を新設しました。今後とも、ご意見ご感想、様々な疑問や質問など、お寄せください。多様な情報交換の場になることを願っています。

【読者：Yさん】

情報をくださりありがとうございました。これからも、ドンドンお寄せください。よろしくお祈りします。

【読者：Kさん】

ピオトープ・ニュース創刊のメール、会の方々も興味深い内容と思えますので転送いたしました。次回からは直接、会のメーリングリストに投稿ください。日本ピオトープ管理士会徳島支部のご発展をお祈りいたします。

【読者：Sさん】

「ピオトープ・ニュース」という情報紙を送付いただき有難うございました。興味深く読ませていただきました。よろしければ、これからも送付いただけましたら幸いです。

【読者：Kさん】

「ピオトープ気延の里」がんばれ！（ニュース001）祝！「ピオトープ気延の里」始動。  
子どもたちが地域の身近な自然にふれ、安心して外で遊べるができる、そんな場所になったらいいですね。ぜひ、子どもたちに外で遊ぶ機会をつくり、その魅力を教えてあげてください。そして、子どもたちもゲストだけでなく、一緒に何かイベントをつくるような活動に発展することを期待しております。「熱血オジサン」ファイト～オウ！！

【読者：Kさん】

教えてください！！最近、もうすぐ2歳になる息子と公園などに出かける機会が増え、雑草を目にすることが・・・。「雑草・・・これではいかん！」と思い、分かりやすいコンパクトな「身近な動植物」の図鑑を探しています。皆さんが使われている**お薦め図鑑**があれば教えてください。

【読者：Aさん】

早速に、読ませていただきました。勉強になりました。こうして、文章として読んでみると腑に落ちます。よく練られているのを実感します。

【読者：Sさん】

こんにちは。春に三日の晴れなし・・・とはよく言ったもので、よく降りますね。先日のピオトープ・ニュース、興味津々で拝見しました。とても関心があります。また配信をお願いします。（たくさんのご意見ありがとうございました。次号でご紹介させていただきます。春に三日の晴れなし：芽吹きに備えて乾いた大地にタップリと・・・自然の仕組みにはそつがない！ですね。編集担当）

**ピオトープ・ナビ Q&Aコーナー**

記者：新開善二（会員）

**【Kさんのお便りから】**

皆様からの情報は次号に期待ということで、参考図書のご紹介です。おもしろい本を見つけました。長新太著（子どもの絵本作家）「ふゆめがっしょうだん」（880円）\* 幼い子どもに読み聞かせると、良い。身近な自然（樹木）のおもしろさ、楽しさが子どもに伝わるのでは。補足：小学館発行「野山の植物」/主婦と生活社「鳥のおもしろ私生活」/虫のおもしろ私生活/全国農村教育協会発行「ミニ雑草図鑑」など。自然と共存する礼儀として、何よりも先ずのお勧めは「アウトドア危険・有害生物安全マニュアル(学研)」です。

**ピオトープ・ナビ 雑学コーナー**

記者：榎本幸実（会員）

**【特定外来生物法】**

特定外来生物法が平成16年6月2日に公布されました。しかし、普及啓発が立ち遅れています。折をみて取り上げたいと思いますので、話題をご寄稿ください。

**編集後記**

お便りコーナーを新設しました。お気軽にご参加ください。皆様の活動やお仕事、日常生活を通じて見たり感じたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽など、ピオトープ・サロンを盛り立ててください。編集：榎本幸実


見つけたよ!


ピオトープで見つけた生物

3月17日 08:22



ほくか見つけた生物の中で一番見つけにくかったのはヤゴです。ヤゴの体本の色はこぼれた水の色とにしていたので、すぐ見つけにくかったです。


見つけたよ!


カエルを見つけたよ!

3月17日 08:22

<p>カエル</p> 	<p>カエル</p> 
<p>カエル</p> 	<p>カエル</p> 

今日、ほくか見つけた。カエルの卵をみつけた。ほくかには「ピオトープにはカエルがいない」と言っていた。私は、ほくかから聞いた話では、カエルはピオトープにはいないと思っていた。私は、ほくかから聞いた話では、カエルはピオトープにはいないと思っていた。私は、ほくかから聞いた話では、カエルはピオトープにはいないと思っていた。


見つけたよ!


ピオトープを覗き込んだ

3月17日 08:22



僕はピオトープを覗きこんでいたら、トカゲとカエルがいました。トカゲはくさむらにかくれている。カエルは岩の下に隠れていました。虫を見つけるのがおもしろかったです。


見つけたよ!


カエルを見つけたよ

3月17日 08:22



今日、ピオトープを覗きこんでみました。カエルを見つけた。カエルは、ピオトープにはいないと思っていた。私は、ほくかから聞いた話では、カエルはピオトープにはいないと思っていた。私は、ほくかから聞いた話では、カエルはピオトープにはいないと思っていた。



まずは生きものの様子を観る



原っぱにも生きものが次々と



生きものが残っていないかな?



最後にヤゴとウシガエル調べを宿題に